



ありがたい話

山崎正俊

厚木市の奥、鳶尾山のふもと中津川により、その棚沢市島という、いまでは、戸数15戸ほどの農村がある。そのうちの7戸は、関原氏。この人々は、約四百年もの昔からの言い伝えを守っている。その先祖が戦さに敗れて逃げる途中、道に迷ったあがく、そのあたりで、敵の手に掛かるよりはと自害して果てた、無念の思いを追悼しているのだと。それで、その農家の当主は、ソバの育てかたも知らねば、その畑も持たない。

見渡す限りのソバ畑の花盛りを、月の明かりに海と見まちがえると、川のせせらぎが波の音に聞こえ、山脈みをさえ箱根連山と思い込み、これはしたり、小田原方の陣地の間にまぎれこんだかと信じたための、間違いだとわかった。その故郷の甲斐の地を山向うにしていながらの悔しさ。

有名な平家の落人伝説に似た言い伝えは、よくある話。これは、私の家の総本家の松浦氏の例。厳島（いつくしま）で大内氏が毛利氏に破れたあと、中国山脈を越えた石見国（いわみのくに）大森の山崎の地に、一族と共に逃がれて帰農。山を抜け出て、海岸の馬路村（まじむら）神子路（かんごうち）に分かれたのが、私の家の本家。

厚木市の関原氏のことを、この頃の朝日新聞に見て、ここに改めて紹介するのは、そこに住む残りの八家族の（現当主たちは勿論）祖先たちの考え方に対する心引かれたことによる。——ソバについての関原家の児孫への禁忌とは、「他の人から手に入れたものなら食べてもよい。自分では栽培する」とするだけで、これは、他の家人たちには及ばないもの。けれども、そのことは承知しているのに、その部落では、いまになっても、誰も、ソバだけは作ろうとしない。

このあたりは古くからの、ソバの名産地として知られている。ソバ畑の経営は、かえって好都合だったはずなのに、それは取り止めになった。ソバを作らなくても、別にどうということはない。それよりも、このおだやかで親しみやすい新来の隣家の人たちと、その痛みと悲しみを同じくするほうが大事。——そのきまりがむつかしくなつたので、気楽くに守られたのです。私たちにとって有難いのは、相手のことを思いやるのが、ここでは、あたりまえになっているということです。

鎌倉ハイキングに参加して

竹田恭子

目的地はかつて経験した所なのだが、左膝の故障が少しあるので、どうしようかと自問自答。迷惑を掛けては申し訳ないからやめようと決めて、ミサにあづかっての帰り、門の前でTさん達と出会う。「私達途中から帰るつもりなの」と、伺い決心がぐらつく。Nさんの「お弁当なら沢山ある大丈夫よ」とのお言葉に甘え、ついに仲間入りさせてもらった。服装も足元も常のままで。やがて山田リーダーの先導で神父様を中心に一行十四名元気に教会をあとにした。晩秋の鎌倉は紅葉も映えて美しく日曜日とあって人出もそこそこ。一行はあるく、歩く。中谷さんが文字通り手とり足とり、いやいや足はとらないが全くよくリードして下ださりその上私の袋まで持つて下ださるすごい人だ。中谷さんのリックは肩にめり込む重さなのに。絶えず誰かの声にはげまされ見守られて何の不安もなく久々の山歩きを、ひたすら歩く。一ヶ所を除いて落葉は適当に乾き思いの外楽に足をはこんだ来てよかった、参加できて良かった。皆様に支えられて無事にコースを突破、お天気にも恵まれて人の和の中、神父様を中心に楽しいハイキングは終わった。リーダー山田さん、又お役の皆様本当に有難うございました。幸せな心、感謝の心に満たされて帰途は足どりも軽い。この分ならあと一回は参加出来るかな?と、思うだけでも嬉しさがこみ上げる。

壮年会だより（12月15日） (13名出席)

1. 委員会報告

2. 教会運営基準の改正案について

小谷委員長御提案の運営基準改正案について、壮年会としての意見を話し合い、下記のようにまとめられた。

- 組織関係： 壮年会、婦人会、青年会および未加入信徒を信徒会と総称し、委員会はその実行／統括機関と位置づける。（従来の信徒総会は会合の名前で、組織名ではないと考える。）
- 婦人会からの委員会への参加は当然の方向である。その場合、本運営基準にて役割を規定すべきでなく、彈力的に運営すべき。
- 『布教』は『宣教』に置き換える。

3. 年末大掃除

12月21日の婦人会の大掃除に合わせ、壮年会の大掃除を実施する。御協力お願いします。

4. クリスマスパーティー

- 子供会・中高生にケーキをプレゼントする。
- 集会室と会議室を使用してセッティング。
- 教会からの料理を主体とし、持ち寄りはやめたいとの婦人会の意見に賛成。
- テーブルを並べる等の事前準備は21日の大掃除の時に済ませておく。

5. バザー収益の寄付について

世界の恵まれない子供への寄付の方法は、気持ちが良く伝わるような方法を別途検討する。

6. 大倉陶園殿への礼状

『什器』から『財産』に変更する以外、小谷委員長案通りとする。

7. シンボルツリーの件

樅の木（うらじろ）を購入した。とりあえず借り植えし、移植は庭をきれいにする会に一任。

8. バザーの反省

- 雨中の設営は事前準備の重要さを痛感。今後も晴雨天両方のレイアウトを事前検討する。
- 屋外会場がぬかるみで大変だったこともあり、庭の舗装と側溝の整備を進めたい、また屋内に土足で上がるようになしたいとの要望が出され、今後検討して行くこととした。
- 企画充実のため、準備は半年前から開始すべきである。
- 焼き鳥、焼きそば等は、中高生へのバトンタッチも考えていきたい。

委員会だより

12月1日集会室に於いて壮年会2名、婦人会2名出席のもと開催。

1. 財務報告（11月度一般会計）

詳細は会計又は広報委員の所にあります。

2. バザー収支より、テーマ「奉仕と仁愛」に則り、下記の通り寄附

- | | |
|---------------|-----|
| ・命の電話 | 1万円 |
| ・フマニタス | " |
| ・世界の恵まれぬ子供のため | 5万円 |
| (国連難民高等弁務官) | |

収支決算は明細出来次第、信徒会として発表、担当 花坂副委員長

3. ボランティア

- 武田、山崎様ペア・グループで聖堂の床磨き実施(12/4)
- 武田様より信徒会へご寄附(バザー収益金)
- 大倉陶園より陶磁器皿500枚寄附申入れあり
- 七浦委員仲介

4. 委員代理の件 (委員会承認事項で決定)

婦人会より

- 財務1名、典礼1名、広報副委員1名については総会で承認する。
- 「庭をきれいにする会」将来のシンボル樹として購入承認(予算1万円)

6. 委員改選の件 神父様、壮年会長、婦人会長で準備。

婦人会だより

12月15日出席者39名で例会開催

1. 委員会報告

2. 例年通り下記の所へ寄附を致しました。
カニタ村、あまみの園、カリタスジャパン
旅路の里、シャロームの家、又衣類に関して
は、旅路の里、カニタ村、シャロームの家へ
送りました。あまみの園へのおむつ2箱送り
ました。

3. 姿見を購入しました。和室に置いてあります
ので、どうぞご利用下さい。

4. 平成4年度の新役員の紹介がありました。

会長 マリア、アスンタ仲村フク(A地区)

副会長 セシリ亞 青柳恵代(C地区)

書記 テレジア 岩淵洋子(B地区)

会計 マリアアスンタ松田ノリ子(D地区)

典礼 テレジア 橋日出子(C地区)

モニカ 下山千代子(A地区)

マリア、テレサ 大宮鞠子(B地区)

以上の方々です。皆様のご協力をお願い致しました。

5. 12月21日(土)9時30分より大掃除を行いました。お忙しい中ご協力頂きました有難うございました。

平成4年1月19日ミサ後総会と新年会を行います。新年会に御出席の方は申込み表にご記入下さい。多数の皆様の参加をお願い致します。当番は中田地区(平成3年度)です。

お知らせ

お悔み

ペトロ 大水 候雄
12月25日 帰天

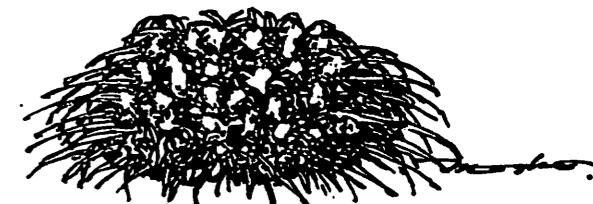
結婚

テオドル 石井 伸雄
奈美江(旧姓 下村)

12月8日 東京目黒アンセルモ教会に於いて

受洗

12月29日(聖家族祝日)
聖アントニオ 浜本 有弥(ゆうや)



編集後記

92年 新春のお慶びを申上げます。

今年も内外の情勢が大きく変動する条件が充分にそろっていて、何時それがニュースとなって出てきてもおかしくない年です。

私達も信仰生活を通してこれに対応していく構えが必要ではないかと思います。

大水さんの帰天に接し、生前壮年会の活動を通して私達に「信仰生活の何たるか」を暖かく示し接して下さった事が、つい昨日の様に思い出されます。

心からのご冥福をお祈り申し上げます。M・i

2月の行事

2日 委員会 ミサ後
16日 壮年会 "
婦人会 "
レジオ 14、21、28、



第167回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年2月2日

文化入門

福島 清

「こんな報告書をなぜ客先に提出するのだ」と長年やってきたことを叱られ、その後長時間仕事のやりかたについて教育された、最後に文化の違いは理解をするまでに時間がかかると言われた。

高校卒業以来、今日まで教えられた、考え方、仕事の仕方について、最近親会社から赴任してきた重役から、事在るごとに文化の違いと言われている。

今まで文化と言うことを聞いても、もうすこし次元の高いところの事かと、思っていたが、がぜん身近の事と感じられる日々である。

気をつけて新聞、雑誌などを読んでみると、あらゆる所に文化と言う事が書かれている。

韓国の人は茶碗をおいてスプーンでご飯を食べる、日本人は茶碗を持って、はしで食べる、日本の食事を初めてみた韓国的人は、「行儀が悪く、嫌悪感すら感じる」と書いている。

日本人は食事の時に、手提げカバンを、なにげなく食堂のテーブルの上に置く、米国では、してはならないマナーであると聞いている。

一緒に暮らすようになって20余年の我が夫婦、私は食事の前にお茶をのむ、言わないと出てこない時がある、虫の居所によってカチンと来る、また、食事の終わった時、何かを少し残してしまう（信州の一つ残し・私は長野県人）、また残してると叱られている。

長い間一緒に暮らしているのに、まだまだお互いに思い違いを生んでいる、つい、相手も同じように考えていると思いこんでしまう。

始めに書いた韓国的人は「文化の差を認めあう前に、お互いの振る舞いに反発を感じてしまう事が多い」と書かれている。

文化と言う事について、少し学習を続け、身の回りに起きている様々な葛藤を、文化の差と言う見方をすることによって、相手の理解が深くなればとやっている。

三十五年目のロマン ①

山崎正俊

◎ アインシュタイン博士は、偉大な科学者として、尊敬され信頼されている。ユダヤ人であったために、ナチス・ドイツに追われて、アメリカに亡命したのだそうな。この人も、原爆をドイツにさきに作られることにでもなれば、たいへんだと考えていたので、アメリカの大統領の決意に賛成の署名を送り、その場面を再演して、テレビに録画させたりしたという。でも、原爆が完成したときには、ナチス・ドイツは戦いに負け、ヒトラーさえ自殺した後だった。幸いなことにも、欧州戦線では、原爆を使う必然性はなくなったのだけれども、多くの経費を掛け、長年にわたっての苦労の成果を、そのまま朽ちさせる手はない、まだ、日本が残っているというわけで、アインシュタイン博士からの、反対の意志が書かれた手紙が届けられた刻には、アメリカの大統領は命令を出しておらず、日本の広島上空でその威力がためされていたというのが、伝えられているところ。

◎ 第一次の世界大戦が終ったら、残酷すぎる殺人兵器として、表面的には、国際間のとりきめで製造禁止となった毒ガスのことがあるのに、アメリカの原爆に就いては、なぜか、その効力が秘密にされ、結果としては（経済的ゆきぎりを軽るくしようとする利害の一一致からか、核保有大国の米ソ間では、核兵器の一部を捨てる約束が実行されると、宣伝されているようになっても）、現在の世界的な困惑を引き起こして、その不安には限りがない。科学は、人類への奉仕どころか、その使い方によっては、滅亡推進の担手にもなる危険を内蔵することが、更に明らかにされた。

自分が作ったダイナマイトのすさまじさに肝をつぶして、ノーベル賞を創設したお方でなくともそのときのヒロシマを追体験し、世界各地での放射能被災者の姿をすこしでも見た後に、その戦争抑止力や平和利用の効果を信じる人があるとすれば、よほどのサディストか偏執狂にちがいない。

◎ アインシュタイン博士には、平和を願うことにおいては、特に熱心で積極的な実行者でもあるとの評判がある。しかし、日本の篠原教授の、冉にわたって送った質問の手紙の裏に記された返書には、その深い事情をよく調べたうえで、批判してほしいと付け足されていた。（つづく）

11月24日

中谷田鶴

全員無事ガンバッテ踏破？ メデタシメデタシ昔取ったきねづか、スポーツマンの「さん枝はついてもさすが足取りはしっかりしたもの、大丈夫かなあ、と心配した。意欲的な丁丁さんも、何時も、献身的に引張り上げ、あと押出されたNさんIさん、他の人達の応援で必死にガンバリ通しました。吹く風も、汗はんだ身には、心地よく、頂上から、見下す、さっき歩いて来た海に続くかと思われる、「段葛ら」の道の眺めに、しばし見とれ、小休止。少し風も出て来て雲行きもあやしく雨を心配しましたが降りもせず、リュックに大事におさめてきた、心づくしのかずかず、祈りも忘れ、ひるげの宴となりました。おでんにみかんキャンディーと次々に回ってきていたのがいい。

手入れされた住居のモミジ、建長寺のモミジの紅葉、みちのくのそれとは違う美しさ、ショッピリセンチになる晩秋の古都のながめを、日の奥にやきつけて来ました。名カメラマンの神父様、Iさんまたあとが楽しみです。神父様は、帰りの山下りの時、尻もちをつかれたとか、大事にいたらなくてホットしました。山門を出る時のハブニングに一行苦笑いアドバイザーして下さった、リーダーのYさんHさん、楽しくお相手下さった皆さん、どうも有難うございました。時間のおくれも、たいしたことなく、それぞれの一日の思いを胸に、軽い疲れを感じながら、夕暮れの家路を急ぎ帰りました。

「神に感謝」

婦人会だより（1月19日）

総会と新年会が出席者53名で行われました。

まず小山会長の、御家族がご病気の栄様、山中様、宮崎（幸）様、七浦様、また昨年御主人が亡くなられた大水様の方々の為のお祈りで始まりました。

続いて年間行事報告、会計報告があり了承されました。特別会計の中のお茶、お煎餅の申込み等取り扱いを今年度より役員が行うことになりました。

次に神父様や旧役員の方々のご挨拶があり、新年会へと引き継がれました。

仲村新会長のご挨拶と新役員および新会員の紹介等があり、お食事となりました。

全員で聖歌を何曲も歌うなど会も盛り上がり、和やかな雰囲気の中、12時45分閉会となりました。

次回例会は2月16日、お当番はA地区です。

おむつ縫いは2月10日（月）10:00より。ご協力お願い致します。

新会員：ルチア丸橋弘子さん（B地区）
石井奈美江さん（C地区）

委員会だより

1月12日集会室に於いて壮年会2名、婦人会4名出席のもと開催。

1、財務報告（91年度決算及び92年度予算）
詳細は会計又は広報委員の所にあります。

2、信徒総会の件（小谷委員長）
公示の準備と式次第の説明。

3、運営基準について（小谷委員長）
・組織の明確化

・大倉陶園からの寄附に対する感謝状の説明

4、クリスマスに飾る馬小屋の整備要請について（井上委員）

5、2月11日（祝日）藤沢教会で典礼研修会（第11回）の参加要請依頼（萩原委員）
・参加費は教会負担とする。

6、旧婦人会長及び新（副）会長の挨拶。
以上

壮年会だより（1月19日）
(17名出席)

新年会を兼ねて本年第1回目の壮年会が開かれました。

1. 委員会報告

2. 壮年会決算報告
問題なく了承された。

3. 91年活動報告

バザーを軸に、庭をきれいにする会の活動や卓球大会、研修会、ハイキング等各種活動が実施された。反省事項や懸案事項は今年解決していただきたい。

4. 名簿、連絡網の改訂

前年のものをベースに、新会員の井上（伸）さんの追加等、若干の変更のみ。

5. 新年度の行事について

役員から提示された案で暫定了承された。

6. バザー収益金の活用

ペルーの恵まれない子供達の為にという趣旨で幼きイエズス会のシスター経由で手渡す。

7. その他

2/9の山手教会での歌ミサに壮年会からも積極参加して欲しい。

たくさんの御馳走（と飲物）を前に、駆け足で以上の議事を済ませた後、乾杯。和やかな雰囲気の内に、3時近くまで話がはずみました。準備と後片づけをして下さった皆様に御礼申し上げます。

お知らせ

・転入 ルチア 丸橋 弘子
ロレンシオ 理雄（みちお）
マリア 由紀子（ゆきこ）
泉区中田町1023-12 電話(804)4422

・転出 浜本ご家族 (4名)

3月の行事

- 1日 委員会 ミサ後
4日 灰の水曜日
6日 初金
15日 壮年会 ミサ後
婦人会 "

レジオ 13 27



第 168 回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年3月1日

心に残るふる里での信仰

三十五年目のロマン

(2)

山崎 正俊

(つづき) それでも、おさえようとしてもおさえ切れない怒りの情が、全文に爆発しているようだった。これは、博士の平和論の限界を見せつけていても、そこにはかがえる苦悩の姿は、誰にも言葉を失わせるほどのもので、病の床に老い伏す篠原教授は、何かに責めさいまなれている者のように、いまは亡き博士にわびている。——ヒトラーのナチス・ドイツだけは、この地上に残して置きたくない。私と私の家族の生命を守るためにも。だから、この強力な武器を一刻もはやく、完成してほしかったのだと、いう内容。——私たちが、いま生きておれるのは、戦争に勝った側にいたか、そうでなくとも、生き残ることを何んとか黙認された者たちとその子孫であること、戦争の申し子ということか。正義の戦争は、いろいろと規定することが出来ると、主張されるらしいのに、実際に闘われた戦争では、ひとつとして、その条件に叶うものはなかったと言い切れるものばかりであった。戦争とは、もともと、生き残るための生存権の主張であったはずなのに。

◎ 念のため、次のことも記して置きたい。——何故か、ヒロシマやナガサキのことについて、謝罪の必要を認めないと、アメリカの大統領は、五十年目のいまも、公言している。不戦の誓いを日本では、国会議決として行いたい意向があるらしいが、大統領は、数百万の米国市民の命を救うためには、当然の決断であったと強調している。一方、イギリスの或る科学者は別のことと言っている。ハワイの真珠湾では、結果として不意打ちをした形になっているが、あれは、日本を追いつめて、さきに手出しをするように仕向けていたのではないか。暗号を解読して、そのことが予測されていたのに、現地の責任者には、わざと知られなかつたのだから。しかし、アメリカの原爆投下は、その必要性が薄いものになっていた。たとえ、日本の戦争指導者たちに、天皇の言葉に平伏して、惨敗を認める口実を与えるには役立つたとしても。日本はあのとき、絶望的であったのだから、まもなく、手を揚げるはずであった。

(ハワイのアリゾナ記念館のボランティア案内人の呪いも、ナガサキ・ヒロシマの原爆記念公園からの苦悩も、強まりこそそれ消えそうにない)

長崎に生まれて・・・

私の祖先は長崎でのキリスト教迫害を逃れて、五島列島に渡った。五島より集団、(約15名)で平戸島の小港に上陸して、人も住めないような厳しい山合いで堀建小屋を作り互いに助け合い開拓して苦しい生活が始まったようです。当時のカトリック信者の教会でのつとめは、とても厳しく現在は、想像も出来ません。

教会は、海辺の近くで谷間に立っていた。一見、和風造りの古い建物ですが、窓がステンドガラスで、とても素晴らしい建物でした。

子供が生れると、二週間以内に洗礼を受けなければならぬのが、神父様の教えだと母にきかされたことがあります。日曜日には、家族揃って教会に行くのがあたりまえです。行かないと近所の信者がうるさいから・・・。教会の信者数は、二百人以上はいたと思った。この村の人は半農半漁で、生活をしているこの村の多くの信者も同様である。日曜日には、仕事をしてはいけない。忙しい農繁期には、神父様の許可を受けなければならぬそのうえ仕事をした割合を教会に納めるきまりがある。

貯金収入の仕事の時には、一部献金をしなければならない。献金をしなければ罪になる。罪になるのが嫌だから眞面目に献金をしたそうです。今、思うと信者の人はよく働きよく教会に行き教会を大切にしていた様に思う。教会の仕事になると時間を惜しまず、体を惜しまず奉仕をしていました。でも、どういうわけか信者の家は貧乏で貧しい生活をしていたのでした。

教会でのミサは毎朝あった。六時から朝の祈り、六時十五分からミサが始まります。私たちの家から教会まで、子供の足で30分位はかかる。夏はとても暑い。五時半には家を出ないと、朝の祈りに遅れる。冬はとても寒い。あたたかい囲炉裏などあるはずがない。指先がやぶれた手袋(農業で使う軍手)と汚れがしみついた手ぬぐいを首に巻き、ちょうどちんの代わりにわら束をたいまつにして、よびのわらを横に抱え教会に行くのです。まるで宝物でも探しに行く姿である。

その時間になると近所の信者も一緒にミサに行くのである。たいまつのは火は、かなり遠くまで明るかった。教会に行く道はとても悪い。雨で土は流れ残った大きな石、くぼんだ所、たいまつの火を足元に近づけないと危い坂道、道ではないような道を小走りで教会に急いだものです。朝の祈りに遅れるのではないかと思ったとき、歩きながら祈りを唱えたものです。

六年生になると堅信のひせきがある。要理勉強がまたきびしかった。神父様の一人一人の要理の試験があるからです。その頃になると一日おきくらい教会に行き要理の勉強です。
教え方の真剣な目、大きな声、一生懸命に要理指導をしてくださいました。

以下は次号につづきます。

信徒総会報告

・信徒総会 1月26日ミサ後聖堂に於いて開催出席者 39名

山崎主任司祭の開会ご挨拶に統いて小谷委員長の91年度教会事業報告があり詳細は以下。

- 1、91年度財務収支決算報告(橋委員)承認*
- 2、同上 監査報告(富田監査人)承認*
- 3、92年度予算提出審議(橋委員)承認*
- 4、教会委員選出(敬称略、順不同)

新任(委員長) 清水 聖

留任 花坂 洋一

石井 三雄

萩原 政弘

井上 昭男

小谷 德爾

七浦 鑑吉

- 5、一粒会報告(富田錦司) 承認*

富田さんは当総会を以て辞任、後任は改めて

- 6、信徒会会計報告(橋委員)承認*

以上、お祈りを全員でして閉会。

*: 詳細は会計又は広報委員の所にあります。

壮年会だより (2月16日) (11名出席)

1. 委員会報告

2. 92年度バザーの件

壮年会としては下記観点から、今年もバザーを実施したい、委員会にて婦人会意見との調整及び方向付けをして頂いた上で、次回以降具体的に検討していくことの結論となった。

- ・親睦を中心に、明確な目標を持たせたバザーの実施には意義がある。
- ・教会建物の改善(例えば『冠婚葬祭の場にもふさわしく』等、長期レンジのターゲット設定も今後検討の価値がある。

3. ハイキング(4月)の件

前回より充実させたいとの要望もあり、時間的に制約のない祝日(4月29日)の朝から実施との線で、山田さんに具体案を計画して頂くこととなつた。

4. 横浜教区第5地区宣教委員会委員

92年度委員として婦人会・内藤さん、壮年会小谷さん(一粒会委員兼務)が就任された。

5. その他

- ・立木の整理/整備につき要望が出、庭をきれいにする会にて検討して頂くこととなつた。
- ・庭の舗装の件、U字溝及び裏庭の整備等についても今後検討して行きたい。

委員長就任に際して

清水 聖

今度委員長の大役を、仰せ付けられ、悩み苦しめたが慎んで御引受致しました。

幸いにも経験豊かな委員に囲まれ、又友人にも恵まれ安心して責務を全う出来るのではないかと思います。とにかく神父様を助け、皆様の御協力を頂きまして、微力ですが21世紀に向かっての教会作りに進みたいと思います。イソップ物語の兎と亀のお話ではありませんが、いそがず、あわてず、神様のお恵みを頂き任期を全うしたいと考えております。(1992年2月23日)

婦人会だより

(2月16日 38名出席)

1) おむつ縫い時の茶菓子代を、各回 500円ずつ婦人会費より出しても良いこと、また例会時の茶菓子代を1000円から1500円に値上げするが承されました。

2) 遠足は例年通り実施する(5月頃)ことになりました。場所等のご希望がありましたら、次回例会でご提案下さい。

3) バザーについては、婦人会としては今年も実施したいということに決まりました。

4) 東京山谷で医療や相談等の活動を行っている山友会では、電話で入院中の患者との連絡を続けるためにテレホンカードの寄付を呼びかけています。婦人会では皆様から不要のテレホンカードを集め、寄付することになりましたので、宜しくお願い致します。(残り少ない度数のものでも結構です。)

5) お茶の販売で出た収益金の寄付先および寄付の方法等について、次回例会迄に役員で検討することになりました。

6) おむつ縫いは3月9日(月)10:00~12:00です。ご協力お願い致します。

7) 次回例会は3月15日、お当番はB地区です。



お知らせ

・受洗 2月11日 アンナ 山田 つや
中田町 249 (山田孝信さんの母)

・灰の水曜日
3月4日(水) 灰の式 19:00 (大斎・小斎)
四旬節

6日(金)~
毎金 十字架の道行 16:00~
・司祭叙階式 3月20日(金)
由比ヶ浜教会に於いて 11:00~
ミカエル 鈴木 真

4月の行事

- 5日 委員会 ミサ後
12日 壮年会 "
婦人会 "
19日 御復活
レジオ 10、24



第169回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年4月5日

心に残るふる里での信仰 ②

T.M

教会へ行かない日は、家で要理の勉強をした。「人とは何でありますか」「聖体とは何でありますか。」・・・大きな声で何度もくり返し勉強した。

農家は猫の手も借りたいほど忙しいのであるが、要理の試験の時期、子供が手伝いをしなくても親は、怒らない。それが不思議だった。神父様の試験がある。出来の悪い子供は、親が呼び出され、神父様に叱られる。一家の手伝いをしなくとも怒られない理由がよくわかった。

要理の本を暗記するために、岩の上に登り、木の枝にすわり、山に行き、いろいろと頭を使ったものです。

ある夏の暑い日曜日である。八時三十分のミサで神父様の長い説教がある。板張りの床に正座をしているひざの後ろから汗が流れる。教会は信者でいっぱい。ミサが終わると、聖体降福式がある。日曜日のつとめが終わると、十時半、又は、十一時頃になる。教会の中も暑いが、外に出ると、太陽が照りつけていてまた暑い。

教会へ行く朝は、聖体をいただくため、食事は絶対だめだった。帰りの道は、またつらい。石ころだらけの悪い坂道を信者の人達が蟻の列の様に歩いて帰るのである。腹は減るし、汗は流れ、くたくたに疲れた。「あーつかれたあなあー」と思ったときである。後ろを歩いていた男の子がこう言った。「どうしてミド(教会)に行かなくてはいけないのかなあー」その横を歩いていたおばさんが、「天国に行くため」と言った。「天国はあるのかなあー。もしかしたらがっかりだなあー」「がっかり、がっかり、多がっかりだよ」とそばを歩いている子もつぶやいた。まわりの人達が、一声に笑った。

ほんの一瞬、暑さと空腹を忘れられた。

母は、信者のつとめには、とても厳しい人のようにでした。

天国に行くためには、御ミサに行き祈りをたくさんしないと行けないと言ったものです。母が言う天国とは、ばらの花がいっぱい咲いていて、おいしい物が腹一杯食べられて、小鳥たちがさえずる楽園のことのようでした。

誰も天国に行ってきた人がいないから天国とはどの様な所かわかりません。「天国がなかったらがっかりだなあー」と思える様な信仰をしているだろうか。

昔、教会に通ったあの坂道を懐かしく思い出される。

今は、坂道も、あの美しいステンドガラスの教会さえもなくなっている。

完

三十五年目のロマン ③

山崎正俊

◎ ここで、話題を一転させよう。実は、いくらくか長すぎたかもしれないが、ここまで述べたことは、次のこの前置きのつもりだった。——「よきサマリア人」の記事は、新約聖書のなかで割りと知られた物語りだが、読み手の境遇や人生経験の内容が、その意味をとりちがえさせて、とんでもない方向にゆきつかせることになり、それもそうだと思いつこませて、驚かせられるという仕組みになっている。ケチのつけはじめは、表題へのイチャモンになる。それは、誤解と自己弁護という人間の弱さによってくる相異なるが、その本来の主役は強盗どものはずでも、隣人愛の行者と被害者(この方がキリストなのです)が中心にすえられてしまったから、巨悪は隠されて、見えなくされ、偽善者が善人面をさらすことになり、めでたしめでたしのきれいごとに、すべてが仕上げられたのだと、きめつけるのです。

ここにいう愛の行者とは、「よきサマリア人」という表題をつけた「えらい人」のことです。だから、強盗どものことだけは、本題からはずすことができ、そのようにして、共犯者であることを隠しあおせたのです。その結果として、すぐに姿をくらませた強盗どもは、面責されることをまぬがれ、さらに誰かを傷付け持物を奪いつづけられるし、愛の行者らは、被害者たちのところに出番が与えられ、キリストに奉仕するような、それらしい行いに明け暮れして、ますます評判は挙ってゆくのです。——「ああ、さいわいなる哉。その罪」賛美歌は夜のじしまを引き裂き、信する者の心を暖かく包み込む。人祖のあの犯罪のおかげで、恵みを失い、死ぬ者に逆もどりをし、罪深くなり、救い主を必要とさせられ、キリストの御誕生、御受難、十字架の上の死、三日目の御復活、四十日あとの御昇天、そして、聖霊の御降臨などをとおして、神様のみいつくしみとみはからいを身にしみて感じさせられ、罪のおそろしさにおののかされる。このようにして、愚かな私たちのために、救いの道がたしかにされ、さいわいな者としての再生が与えられる。キリストは、尊い偽善者・愛の行者たちの後光となり、私たちは、この人たちの云いなりに、ひざま付かされる。——なんとも乱暴な、奇妙なりクツがまかりとある。

委員会だより

- 3月8日集会室に於いて壮年会、婦人会各1名づつ出席のもと開催。
1、3月7日(土)山手教会にて聖歌のつどい実行委員会が開かれ、15の教会より委員が参集しました。
2、黙想会(共同告解)は3月29日、福地神父様の御指導で行います。
3、財務報告(2月度一般会計)
詳細は会計又は広報委員のところにあります。
4、御復活パーティー
婦人会のご協力をお願いし持寄りパーティーとします。教会より5万円予算計上されています。
5、御ミサ遅刻防止の件
最近遅刻する方が目立つようになりました。この為、5分前に予鈴を鳴らし皆さんに自覚を持って頂きます。どうぞ、皆様のご協力をお願いします。
7、広報「なかわだ」郵送の件
病気療養中、教会から遠のいている方々への配慮から、壮年会、婦人会で調査し、対象の方に広報及び他の関連文書の郵送をおこなう。
8、青年会の動向(独身社会人、大、中高生)
仲なか一堂に会し話合う機会に恵まれない現状と、年度替わりの時期でもあり先輩から後輩へ上手に引継ぎをして戴きたい、これは山崎神父様、はじめ壮年会、婦人会の人達も認識を持つて対応して行く事を確認した。
9、その他

壮年会だより (3月15日)

(10名出席)

- 委員会報告
- 庭の掃除について
御復活祭に備え、4月12日に庭の掃除を行うこととなった。今回は草取りのみで枝切りは行わない。
御協力をお願いします。また可能な方は草取り道具も御持参下さい。
- 次回例会
第三週は御復活祭のため第二週とし、上記庭の清掃の後に簡単な懇親会も兼ねて行う。
- ハイキング予定
下記のように決まりました。壮年会に限らず多数の方の御参加をお願い致します。

4月29日(祭) 高尾山周辺 (雨天中止)
AM 7:30 長後駅集合 PM 4:30 同駅解散

長後——町田——八王子——高尾——
高尾山口—(1.05)—自然動物園—(0.25)—葉王院—(0.20)—見晴台—(1.00)—城山—(1.25)—
—相模湖駅

歩行時間 4時間 30分
弁当、雨具、水筒持参

(詳細は別途掲示致します。)

- 一粒会関係
小谷委員より一粒会の郵便貯金口座が作られたこと等の御報告があった。
- その他
御ミサ終了後気軽に話のできるサロンを集会室一階に作ってはという提案があり、具体案を次回例会で話し合うこととした。

婦人会だより (3月15日 37名出席)

- 遠足の日程が下記のように決まりました。
[5月13日
葛西臨海水族館及びその周辺]
詳細は次回例会でお知らせ致します。皆さんご参加下さい。
- バザーのための奉仕日は、毎週水曜日の10:00~15:00と決まりました。5月20日より始まりますので、ご協力お願いいたします。
- 皆様からご寄付頂き、多数のテレホンカードが集まりました。早速山谷に送らせて頂きます。有り難うございました。
- お茶の収益金の寄付先は従来通りとし、残金は各地の突發的な災害発生に即応できるよう、ストックしておくことになりました。
- 4月の例会は、第2日曜日(4/12)で、お当番はC地区です。
- おむつ縫いは4月7日(火)10:00~12:00です。ご協力お願い致します。
- 4/18(土)9:30より大掃除と卵ゆでを行います。お手伝いよろしくお願ひいたします。

お知らせ

聖週間のミサ時間
聖木曜日(16日) 20:00
聖金曜日(17日) " (大斎・小斎)
聖土曜日(18日) "
御復活のミサ 7:00 10:00
10時のミサ後 持寄りパーティー

結婚式 3月 8日

今本 文隆
マルガリタ・マリア 今里 道代

5月の行事

3日 委員会 ミサ後
17日 壮年会 "
婦人会 "
レジオ 8 15 22 29



第170回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年5月3日

表と裏

宮崎 佐喜男
「表裏一体」「本音とたて前」等など、古来日本には表と裏に関する言葉の多くが言い伝えられている。

私がこういった事に興味を持ち始めたのは職業柄特許を扱う様になってからである。御存知の通り特許は既に公知された表世界の裏で虚々実々の戦いがくりひろげられるわけで非常に興味深い世界と言える。

少々哲学的な話になるが、表があつての裏であり、裏があつての表がありえるわけで、そういう意味ではどちらが表・裏と言える話ではないのかも知れない。

元来人間にはジキルとハイドの例に見られる様に表裏の二面性が存在していると言われている。ただ自分が今現在どちら側にいるのかを認識するのはなかなか難しい問題であり人間の神秘性に富んだところであろう。

これと似た話で「本音」と「たて前」がある。ある著人の言葉に「二つの世界がある。一方は境界と規則ではかれる世界、そしてもう一方は心と想像力で感じる世界である」というのがある。この言葉は「本音」と「たて前」の本質を実によくついている様に思える。

学者では無いから偉そうな事は言えないので自分の感じたままを述べるが、欧米が機能第一主義的管理制度の構造を取っているのに対し、日本社会においては「本音」と「たて前」をうまくとり入れながら家族主義的管理制度の構造をとっており、ここに欧米諸国と大きく特質が異なる要因がある様に思える。これは政治の社会においてもしかしで、日本ではよく「灰色高官」等と呼ばれる汚職議員が存在するがこれなど欧米諸国では、水と油が決して混じり合わないすなわちファジーな部分が無い様に黒か白のどちらかに位置づけられるであろうし、国民感情としてもファジーな面は許せないだろう。

こうして述べてみると「本音とたて前」論が、すべて悪い様な感じがするが、決してこれを全面的に否定しようというものではない。事実、本音はお互いに腹の中で理解した上で、たて前だけですべての物事をうまく運んでいるという例はいくらもあるし、近頃なにかと話題になっている「ガンの告知」もそういった一例ではなかろうか。患者当人に積極的にガンである事を告知する様になったのはごく最近の事で、以前はひたすら本人には病名をかくす傾向にあった。これにより精神的ショックを受けず一生を終えられる事が幸福であるという考え方立つものであろうが、逆に本音を正直に告知する事により前向きに病気と闘う事が肝要であるし、残された有期限を有意義に過ごす事の方が大事であるという考え方である。
▲

以上「表と裏」「本音とたて前」について色々述べてきたが、すくなくとも教会を基に運命共同体である信者同志、本音の交わりの中に身を置きたいものである。

委員会だより

4月5日集会室に於いて壮年会、婦人会より各2名づつ出席のもと開催。

1、新委員の選出 小野 雅彦さん
委員長、壮年会長の推選、神父様、委員会の承認を受けて決定。

2、財務報告（3月度一般会計報告）

詳細は会計又は広報委員のところに有ります。

3、一粒会に関する報告

4、御復活の準備に関する件

・持寄りパーティー形式とし御聖堂を使用。

5、教会から足の遠のいている方への配慮

山崎神父様より会報、その他の関連文書を郵送することを検討中。

6、ファックス導入の件

設置を前提にして調査（石崎さん）を進める。

7、バザーに関する件

日程：10/末～11/初旬を予定

実行委員会メンバー（敬称略）

壮年会 花坂 小谷 石崎

婦人会 阿部（映）下山 青柳

実行委員長 石崎

会計担当 青柳

8、[平和の為の祈り]について

山崎神父様よりお話をありご復活を区切りとして取止めとすることに決まりました。



中和田教会の皆様へ

こんにちは。先日そちらの教会で甘夏の販売をさせて頂きましたサリサリです。

皆様のご協力により無事完売致しました。サリサリ同心から感謝しております。

なお利益に関しましては、私達サリサリの活動資金とさせて頂きますのでご了承下さい。

利益の内訳（会計報告）は別紙参照下さい。

これからも、色々な面でお世話になると思いますが、よろしくお願い致します。

サリサリ一同

（会計報告書は会長又は広報の所に有ります。）

壮年会だより

（4月12日 13名出席）

1. 復活祭を迎えるに当たり、心配された天気もなんとかもち、庭の草取りを行った。続いて例会と和やかな雰囲気で簡単な懇親会が行なわれた。参加された方々ご苦労さまでした。

2. 委員会報告

3. ごミサ後の気軽に話し合えるサロン作りについて多くの意見が出され、これらを踏まえて石崎様が中心となり具体化することとした。

4. 高尾山ハイキングについて話し合った。

子供の参加（家族同伴）を呼び掛ける。

交通費：約￥2,000.-

持参する物：弁当、雨具、水筒

服装：軽装にて、歩きやすい運動靴

多数参加の場合は5～6名に一人サブリーダーをつける。詳細説明は4/26（締切日）に行う予定。

5. バザー実行委員選出

花坂様・小谷様・石崎様の3名にお願いした。

6. 神父様と小谷様より一粒会について説明あり、小神学校・大神学校の現状とその意味について、また祈りの重要性について説明があった。

婦人会だより

（4月12日 34名出席）

1) バザーについて

・バザー実行委員を阿部映子さん、下山千代子さん、青柳恵代さんにお願い致しました。
・手芸品やその他の作品で良いアイディアがございましたら役員までお寄せ下さい。

2) 遠足について

場所：葛西臨海公園

日時：5月13日（水）

集合：JR戸塚駅 9:15

相鉄線いずみ中央駅 8:45

（ご都合のよい方をお選び下さい。）

費用：交通費、入場料、その他 約3,000円
(昼食代は別)

参加申込み表を婦人会のボードに張り出しますので、お名前をお書き込み下さい。多数の御参加をお待ち致します。

尚、詳細は『遠足のしおり』をご覧下さい。

3) おむつ縫いは5月22日（金）10:00～12:00です。
ご協力お願い致します。

4) 次回例会は5月17日、お当番はD地区です。

中和田サロンオープンのお知らせ

5月10日（日）教会に来られる方々の〔親睦〕を目的にミサのあと新集会室でコーヒー、紅茶とケーキのサービスを行います。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

6月の行事

7日 委員会 ミサ後
14日 サロン "
21日 壮年会 "
28日 婦人会 "
レジオ 12 19 26



第171回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年6月7日

大自然と喜び

Y. Y.

子供の頃、海と山に囲まれて過ごしました。教会のごミサが朝六時と九時に有りました。

その頃はごミサが終わると直ぐ家に帰り、水中メガネと釣竿をもって海によく出かけました。

海は歩いて三十分で着くところにあり、途中の道には、カニ、ヘビ、セミ、ヤンマー等がいて、カニは道の横に穴を掘って赤い色をして泡を出していました。ヘビは目の前を堂々と横切って行くこともあり、そのヘビは青いのやら黒いのやらいろいろ出てきました。

セミは特に桜の木に多く、列をなして留まっており、お尻を上下しながら大きい音でセッセッセと鳴っていました。一週間の命だそうですが、色は水色と茶色で、羽根は水色の網模様でした。

ヤンマーはクモのことです。色は銀色と茶色と黒との縞模様です。

クモを喧嘩させるのが好きでした。小さい木の棒の上で右と左に乗せて歩かせ、出会ったところで喧嘩が始まり、絡み合って喧嘩するうちにお尻から糸を出し始めて、糸に巻かれて動けなくなつた方が負けとなる。

この様な大自然の現象を子供ながら楽しんで見ていました頃を思い出し、幸せと喜びを感じました。

この世の中は、神様が造られたものと、私は信じ感謝して生きています。この先も大自然に感謝して生きて行く積もりです。



委員会だより

5月3日集会室に於いて、壮年会、婦人会からのご出席も頂いて、計12名出席のもとに開催されました。

- 1、財務報告（4月度一般会計報告；橋 委員）
- 2、ご復活祭パーティの『反省事項』として次の課題が提起されました。
・より一層多くの方々に参加頂く為の“気配り”
・“持ち寄り”スタイルの在り方
婦人会、壮年会名等で話し合って頂くことをお願いします。
- 3、若手の典礼係の養成状況報告（萩原 委員）
- 4、療養中の方や足の遠のいている方に対し、なかわだ会報が郵送されました。今後も毎月継続して送ります。
- 5、ファックス導入の件：石崎さんが継続調査。
- 6、山崎神父様のご靈名祝日（7月第1日曜日）に際し、靈的花束など準備（萩原 委員）
- 7、山崎神父様のご出張が、下記の様に予定されています。別途、留守番当番表を出しますので宜しくお願ひします。
• 6/26(金) ~ 6/28(日) : 日本鉄道外リックの会
• 9/01(火) ~ 9/08(火) : 中国東北地方（旧満州）
• 9/下旬 ~ 10/ 上旬 : 教区の黙想会

- 8、バザーの件：
• 4/26に実行委員会発足（壮年会、婦人会各々3名）したこと、及びその内容報告。
• 実行委員会より要請のあった『バザーのテーマ、目的』の定義については、

従来からの理念である『奉仕と仁愛』の継承性を維持しつつ、教会内諸整備の為に...
とすることとなりました。

壮年会だより (5月17日)
(14名出席)

1. 委員会報告
神父様御旅行中の当直当番について、壮年会には特に夜7~9時の時間帯が期待される。御協力宜しくお願ひ致します。（その他略）
2. 高尾山ハイキング報告
4月29日に参加20名（内子供5名）にて実施。絶好の好天に恵まれ、参加者の交流も深まり、大変楽しい一日となった。好評につき、秋にも鎌倉周辺を中心計画することとした。
3. ミサ後のサロン（仮称中和田サロン）
前回新集会室1Fにて約50名の参加を得てミサ後のサロンが開かれた。ケーキや桜漬等の差入も頂き、楽しい一時を過ごせたと好評であり、今後も下記のように継続することとした。
・原則第2、4週（6月は14、28日）
・費用は壮年会予算にて工面
・負担にならぬよう工夫、手直しをしていく。

4. バザーについて

- ・福祉はペルーの子供達への寄付を継続。
- ・教会の設備、備品等への意見をまとめる。また当日の出店、公報等につき今後検討する。
- ・バザー実行委員会に、青年会、中高生会からも出てもらうべく諮ることとする。

5. ピンポン大会（8月予定）

十分な準備が必要なため、6月例会で実行委員会を発足し、検討を開始する。

婦人会だより
(5月17日 28名出席)

- 1) 復活祭での卵作り、大掃除、持ち寄りパーティーなどのご奉仕に感謝致します。皆様から頂いた持ち寄りパーティーに関する御意見、反省事項等は、次の機会に活かしていかたいと思います。
- 2) バザーの作業は5月27日から毎週水曜日、10時~15時に行いますので、お手伝いを宜しくお願ひ致します。また手芸品やその他の作品で、良いアイディアがございましたら、是非役員までお寄せ下さい。
- 3) 5月13日、参加者26名で葛西臨海水族園に遠足に行って参りました。ゆっくりと水族館の見学もでき、東京湾のシーバスも快適でした。まずまずのお天気で、和気あいあいと楽しく一日を過ごすことができました。
- 4) おむつ縫いは6月8日(月) 10:00~12:00です。ご協力お願い致します。
- 5) 次回例会は6月21日、お当番はA地区です。



お知らせ

- ・転入
ルチア 丸橋 弘子 マリア 由紀子
住所 泉区中田町 1023-12
TEL 804-4422
- ・転出
吉中 哲哉 薫 慎一
住所 滋賀県栗太郡栗東町繕道寄り473
コープ道寄り101
- 牧野 紀子 北海道札幌市へ
- ・結婚
マルコ 内田 真樹
マリア 広美 (旧姓 富田)
新住所 藤沢市大鋸1-8-17
オリエント レジデンス 303
TEL (0466)50-0883
- ・洗礼
5月24日
ヨゼフ 松下 祐樹 (92年4月27日生)

7月の行事
5日 委員会 ミサ後
12日 サロン "
19日 壮年会 "
婦人会 "
26日 サロン "
レジオ 10, 17, 24, 31
(8月は休刊します。)



第172回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年7月5日

高齢者に仲間入りして 五十嵐 貞也

私も知らぬ間に年寄りの仲間にはいたらしく会社に行くと、若い社員に「おやじ年を取ったね」と言われ、はっと自分を見直して見れば、何となく気力を失い、精神的に弱くなり、心の中に大きな空洞ができ、慌てて自分の趣味や嗜好を生かすべく努力をしなければと、重い腰を上げたあります。壱回、式回の退職の時は仕事があり自分としても目的があり、精神的にも張切って色々と目標を立てたが、今回会社を辞し好きなことをする次第です。男は定年後の目標がなく、精神的に弱気になるせいで、女性より短命な方が多いのかと考えさせられ、私も趣味を生かし会社のOBの連中と囲碁や将棋などで気をまぎらわせたり、成るべく外で身体を動かす様につとめ、楽しく過ごさなくてはと、家の小さな森に住んでいる鳥を観察してみようと森の中に入り、小さな森にしては思ったより小鳥が多くいるので吃驚し、餌付けをして見ようと思い、餌台を造り、毎朝餌をあたえる。小鳥の種類は、「スズメ、雛鳩、椋鳥、ヒヨトリ、ツクミ、オナガ」一番乗りは、スズメで警戒心が強い。雛鳩は平和な鳥で他の鳥と喧嘩もせず餌を取り、ヒヨドリは餌台を縄張りと決め他の鳥を寄せ付けない。オナガは群れを成してきて餌を食べるので大変です。餌をあたえる時間が来ても餌を出さないと、餌台に小鳥が来て餌を出すのを待っている程に馴れてきた。餌台に来ないが鳴き声を聞く鳥はモズ、メジロ、ウグイス、キジコジュケイ、カッコウ、フクロウ、コゲラ、等たくさんの鳥が森の中に住んでおり朝の散歩が楽しみです。また現在二階のベランダにある陶器製の椅子の中に四十雀が、今年も巣を作り卵を抱いており、今年は2回目で卵は5個一日中休み無く雛鳥が暖め雄鳥が一生懸命に餌を運んでくる。見てるとほんとにほほえましく感じます。いつ巣だちするかを楽しみにしています。このように鳥と戯れ、秋が来れば畠の作物の収穫の楽しみがあります。

世の中は豊かになりました、あの焼け野原で住む家もなく、食べる物もなく、苦しい生活に耐え辛抱強く、明るく楽しい生活を求めて、せっせと働き汗を流してきました。思い出ると、夢のようで、いつまでも静かで平和でありますように。



身障者交流ハイクに参加して

山田孝信

5月17日 相模勤労者山岳会主催による身障者との交流ハイキングに参加した。相模湖駅よりバスで10分ほどのところにある石老山(694m)に身障者と一緒に登ろうという催しである。毎年行われており今回で17回目だとのこと。

当日は子供も多数参加し総勢100名ほど集まった。8名の身障者を手分けしてお世話をすることになった。

車椅子の身障者を介助して頂上まで登るのは思ったより大変である。急坂、木の根、岩などの有るゴツゴツした道、又狭い道等が多く車椅子を押して行ける所はほとんどない。車椅子にロープをくくりつけ持ち上げながらの登りが続く。一台の車椅子を5~6人で担当するのだが、10~20分もすると腕が疲れ、次の人と交替する。事故を起こさないよう気を付け、皆心を一つにして玉のような汗をかきながら一生懸命登る姿に美しさを感じた。緊張の連続の後、2時間ほどで頂上についた。頂上で昼食をとった後下山する。下山も又大変である。途中事故もなく全員無事下山できてホッとする。一組下山する毎に拍手で迎える。皆「一つの仕事を成し遂げた」満足感で一杯の顔である。又、身障者の嬉しそうな顔を見ると、今までの疲れも吹き飛んだ。

私の趣味は登山であるが、いつも山に登り自然の美しさ素晴らしさを満喫している。その楽しみを身障者にもあじあわせてあげる事ができて本当によかったです。



連休の一日を楽しんだ高尾ハイク

壮年会主催の高尾山ハイキングが、4月29日ゴールデンウイーク初日に行われました。

この日は、朝から雲一つない青空が広がり、絶好のハイキング日和。大人15人子供5人で元気に長後を出発。町田→高尾→高尾登山口と電車を乗り継ぎ、ケーブルでいっきに頂上近くまで上がり、スギの大木を見ながら薬王院まで行きました。3メートルもあるうかと思われる大きな天狗の面やゲタ、極彩色豊かな龍の彫刻、まるで中国の寺院にでも行ったような錯覚を覚える薬王院を後にして山頂で小休止。呼吸を整え、元気になる水を飲み又歩き始めました。スギ並木の急斜面、急勾配の坂を登り下りし、「お弁当まだなの」の声を聞きながら、山野草の花を見たり、ウグイスの鳴き声に元気づけられたり、「このスギ花粉が横浜まで飛んでくるんじゃないの」とおしゃべりを楽しみながらやっとお弁当の待つ城山に着き、木陰でお昼。おにぎりのおいしかった事。リーダーの山田さんが、お湯を湧かして熱いコーヒー、紅茶を入れて下さいました。山の中で入れたてのコーヒー、紅茶が飲めるなんて幸せ……。

元気が出てさあ出発、今度は相模湖まで下りばかり、上がりより下りの方が、ひざにくるのできついです。でも子供達は走るようにおりて行きます。弁天橋では新緑の河川に歓声、つり橋を渡り相模湖を通り一路駅へ。コイノボリが泳ぎ、きりの淡紫色の花を見て光と風と新緑と青空の中、連休の一日を楽しんできました。残念ながら今回参加出来なかった方、次回御一緒に行きましょう。

リーダーの山田さん、企画して下さった壮年会の役員の方、有難うございました。又よろしくお願いします。

楠田

委員会だより

6月7日集会室に於いて、壮年会、婦人会からのご出席も頂いて、計8名出席のもとに開催されました。

- 1、財務報告（5月度一般会計報告）
- 2、神父様ご出張(6/25 ~ 6/25)時の留守番当番 →別途当番表掲示するのでご協力を。
- 3、バザーの準備関連（実行委員会報告）：
 - ・開催日程は10/25を目標に推進。
 - ・昨年、同様壮年会／婦人会の協力を確認。
 - ・昨年度の反省事項の改善策は今後検討継続。
- 4、ファクシミリ導入の件：
 - ・パナファックス導入を決定。
 - ・但し、専用電話回線を新規にひくか否かは財務面も含め別途検討。
- 5、魅力ある教会づくり：
 - ・壮年会主催のサロン好評。
 - ・6月は第2、第4週に開催。
 - ・『子供のためのミサ』→今後の検討課題。
- 6、待者の不足の件：
 - ・『枠を拓げる』方向で委員会で検討を進めながら、根の深い問題も多く、壮年会、婦人会にも検討をお願いする。
- 7、小野寺先生の近著『大地の神学（聖靈論）』を教会蔵書に加えることに決定。

壮年会だより

(6月21日 10名出席)

報告事項

- 1、委員会報告（委員会だより参照）魅力ある教会への検討事項で意見あり。
- 2、第2回【中和田サロン】6/14実施 50名以上の参加者あり、但し壮年会の参加者が少ないので残念であり、多くの積極的な参加を期待する
- 3、ご結婚のお祝品贈呈 富田様のお嬢様（マリア広美さん）七浦様のお嬢様（テレジア千恵さん）森脇様の次男（パウロ恒明さん）
- 4、ご逝去 栄植郎様が6月9日に帰天されました。

協議事項（詳細は壮年会議事録にあります。）

- 1、バザーについて、（石崎実行委員長）
- 2、今後の行事について
 - ・ピンポン大会
 - ・庭の掃除
 - ・11月のハイキング
- 3、その他
 - ・壮年会連絡網の徹底
 - ・教会行事の運営上不都合が多いので、婦人会より教会委員への参加を神父様に再度検討していただく。

婦人会だより

(6月21日 34名出席)

- 1) 5月22日おむつ（段ボール2箱分）を奄美の園に送りました。皆さまのご協力によるものです。有り難うございました。折り返しお礼のお電話を頂きました。
- 2) 5月31日、片瀬教会での福音宣教委員の集まりに、内藤さん、松田さんが参加しました。後日内容を詳しく御報告致します。
- 3) 6月17日、スマニタスに寄付1万円を送金致しました。
- 4) おむつ縫いは7月6日（月）10:00~12:00です。御協力お願い致します。
- 5) 次回例会は7月19日、お当番はB地区です。

お知らせ

- ・ご逝去 お悔み申し上げます。
パウロ 栄植郎（6月9日）
- ・ご結婚 おめでとうございます。
鎌塚 浩一（6月13日）
テレジア 七浦 千恵
新住所 〒706 高松市三条町42
レジデンス蘭 1南
パウロ 森脇 恒明
森 紋加（あやか）
新住所 〒245 泉区和泉町3747~1
TEL 805-4367
・転出 七浦 千恵（結婚の為）

9月の行事
6日 委員会 ミサ後
13日 サロン "
20日 壮年会 "
27日 婦人会 "
レジオ 11 18 25日



第173回
カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年9月6日

高齢者の祝い年齢

五十嵐 貞也

人の世は山坂多い旅の道、
年齢60歳に迎えが来たら。
還暦 60歳とんでもないと、追い返せ。
古希 70歳未だ未だ早いと。追っ放せ。
喜寿 77歳せくな老楽これからだ。
傘寿 80歳なんの未だ未だ役に立つ。
米寿 88歳もう少しお米食べてから。
卒寿 90歳年齢に卒業はない。
白寿 99歳で100歳の祝いが済むまでは。
茶寿 100歳、未だ未だお茶が飲みたい。
皇寿 111歳そろそろ諒るか日本一。
氣、 「きながく」心、「心は丸く」
腹、「腹立てず」口、「口慎めば」
命、「命ながかれ」、念ずれば花開く。

ご報告

昨年当教会を訪問された「シャロームの家」の皆さんとの交流が縁となって、昨年に続き今年も、「寿町夏まつり」に出店する彼らを応援して、おにぎりを提供することにしました。

たくさんのお手伝いのお申し出と、カンバ(14,250円)を頂き、8月15日、聖母被昇天のミサのあと作業をし、出来上がった180個(60パック)のおにぎりを無事届けることができました。

尚、カンバされた金額の中、経費を差し引いた3000円は、現金で寄付致しました。

代表の原木氏からみなさんへよろしくとのお言葉のあと、作業所の現況やら、寿町の老人の為のホーム建設の進行状況等のお話を伺い、困難の中で住人の方々がすこしでも人間らしく安心して暮らせるよう努力しておられるご様子に、今後もできる範囲で共感的にかかわっていけたらと思いつつ帰って参りました。 (岩崎 記)



夏期学校に参加したこと

武田 洋一

ぼくは、8月7日から、8月8日まで教会の夏期学校に参加しました。ぼくは、しんせきの人來ていたので、一日お休みしました。

一日目は、午前中お勉強しました。それから、bingoをして、賞品をもらいました。ぼくは、6と36と55は必ず書きました。面白かったです♪

夜、バーベキューをしました。色々な物を焼いて食べたらどれもおいしかったです。バーベキューが終わってから、花火をしました。みんな5本ずつもらってバーベキューの後の火でつけたら、なかなか火がつきませんでした。色々な花火があって、とても楽しかったです。2日目は、午前中お勉強の作文をかきました。午後は、近所のブルに行きました。楽しかったです。



委員会だより

7月5日集会室に於いて壮年会、婦人会より各々2名出席のもと開催。

- 1、財務報告(6月度決算報告)
詳細は会計又は広報委員の所にあります。
- 2、ファクシミリ導入の件(担当は石崎さん)
7月末から使用できる。
- 3、さがみ野靈園 第2次募集の件
甲斐さん(本件の中和田教会窓口)
- 4、待者が不足している件
いくつかの意見が提案されたが結論がせず、また、聖歌隊、オルガン奏者不足等の問題と共に再度検討する。
- 5、夏期要理学校について(井上委員)
8月6日~8日の3日間実施、そのうち2日間はマリア会のシスターが来て指導する。
- 6、その他
中和田サロンの為に、小谷さんよりエプロンの寄附をいただいた。

壮年会だより (7月19日) (13名出席)

1. 委員会報告

侍者不足の為、壮年会からも協力をという話があり、今後検討していく必要がある。

2. ミサ後のサロンの運営方法について

サロンは今後も第2、4週に継続することとし、細部運営方法を再検討の結果、下記結論を得た。

- ・お金はこれまで通り無料。
 - ・壮年会メンバーにて奉仕。
 - ・費用は当面壮年会予算にて工面。
 - ・第2、4週の当番担当者を再確認。
 - ・宜しく御協力、御参加下さい。
- 尚、小谷様よりエプロンの御寄贈を頂きました。有り難うございました。

3. ピンポン大会

9月13日(第2日曜)に実施する。各会より実行委員を出して頂き、具体的な運営方法を検討することとした。

4. バザーについて

昨年並のことを行う方向で次週以降具体検討に入る。

5. 庭の清掃

枝の刈り払い主体に8月16日(第3日曜)に実施する。御協力をお願い致します。

婦人会だより (7月28日 28名出席)

- 1) 6月28日神父様の誕生日のお祝いに、婦人会より図書券をさしあげました。
- 2) バザーの作品を御自宅で作って下さっている方はできるだけ9月中にご提出下さいようお願い致します。また個人的な作品(1点でも2点でも)も大歓迎致します。
- 3) 新品の不用品、古着等も9月になりましたら集めますので、同じく9月中の御提出を宜しくお願い致します。
- 4) 8月は、例会、バザーの奉仕ともにお休み致します。
- 5) おむつ縫いは9月8日(火)10:00~12:00です。御協力をお願い致します。
- 6) 次回例会は9月20日、お当番はC地区です。

お知らせ

・初聖体	8月9日
ラウレンシオ	岩瀬 宏毅
アグネス	太田 寛子
ヨハネ	武石 真太郎
パウロ	藤田 裕介

・住所変更	
真浦 春夫	綾瀬市吉岡東1-3-5
大水 チヨノ	綾瀬市吉岡東5-4-23

・転居	
岩永 一夫	泉区和泉町4144 TEL 805-4030



編集後記

記録的な残暑が続いた8月も終わりましたが、9月に入ってもまだ猛暑が続いています。皆様にはどんな夏をお過ごしになりましたか。教会の行事として、夏期学校、庭の枝切り、中和田サロン、卓球大会と、いつもの月より盛りだくさんの催しで、参加された方々はより充実した8月だったのではないかでしょうか。そしてこの行事を通して皆様の親交がより深まったと思います。またこれら行事の運営に携わった方々のご苦労は大変だったと思います。

しかし、この個々の苦労の積重ねによって教会が維持され、共通の目的の為に活性化され、充実して行くところは間違ひありません。行事の企画運営も大事ですが、それに参加することが最も大切な事だと思います。

これから季節の節目に向かいますが、心身にご留意の上、ますます今後の行事に積極的に参加しましょう。(M・I)

10月の行事（ロザリオの月）
ロザリオの祈り：ミサ前8:45～
4日 委員会 ミサ後
11日 サロン "
18日 壮年会 "
婦人会 "
25日 バザー "
レジオ 9 16 23 30



第174回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年10月4日

無題

井上昭男

青年の時代は知識にしろ、技能にしろ、できる限り多くのものを吸収しようと思う時代である。それは、きわめてあたり前のことであり、若いうちにそのような意欲のない人は先の見込みがないといわざるえません。むしろどん欲なほどの攝取欲をもつべきであります。ところがここで考えてください。はたしてつめ込むばかりでいいのでしょうか。吸収したものは排出しないといけません。ここでの排出とは研究、理解したものを見ましたり、人に教えたえることです。普通我々は、相手よりも十歩も二十歩も先んじていないと教える資格がないと、あるいは、せっかく覚えたものを見なんか教えないなんて考えがちです。こんな考え方をもっている人がいるとすれば、その人はたいへん損をしてはいないでしょうか。一步先んじている人は一步遅れている人に対してその一步だけ教えることができるわけです。又、人の知らない事を知っている人は、その知らないことを人に教えることが出来るわけです。そしてすべての人がきわめてフランクに教えあえば堅苦しいことはなくなり、楽しく、知識、技能を学ぶことができます。教えるということは自分のためになります。いわゆる教えることは教えられることがあるという原理である。ある学問なり、技術なりを人に教えることになると、自分がかつて学んできたものを一応筋道たてて、整理して、相手に理解できる様に工夫します。このことだけでも自分の考えがまとめられるということで、たいへんプラスになります。しかもそうしているうちに、自分の知識や技術に思わぬ穴や欠点を見出していく、もっと勉強しなければならないという気持になり、あらためて勉強しなおします。そして、いざ教えてみると、今まで主観的には確信をもっていたものが、他人に通用しない、そして自分の知識や技術の巾や奥行が狭くて応用がきかない等というように、自分の学問、技術の未熟さがわかつてきます。そして、今までの自分には満足できず、より一層の勉強をする様になるわけです。教えるということは、このようなすばらしい効果をもたらしてくれます。要理学校で子供たちと遊び、子供たちに自分の知っていることを教えてみたいと思いませんか。若い人の参加をまっています。

1992.9.23
第25回 一粒会（静岡）大会
ミサ聖祭の第一朗誦
「教皇様のメッセージ」より

共同体としての小教区にも、当然のこと、キリストさまが、永遠に存在しておられます。大きな小教区も小さな小教区も、それが大都会の真中のものであろうと、片隅みにひっそりと隠れているようなものであろうと、全世界どこにでも建てられた「見える教会」を示しています。

公会議では、それを「人びとの靈的なお世話を」という教会の真の姿を外に現すのは、この小教区であると言っています。それで人びとに靈的な働きかけをする人・司祭への召命を育てるることは、片手間の仕事ではなく、小教区共同体の活動として、確りと組み込まれたものでなければなりません。現代の全世界的な危機に強く求められている回心のために、この「生命の与え主」を知らせる・司祭職への召命を育てるという務めは、ますます大切なものとなっています。

こう言って、すぐ思い浮かぶことは、司教たちが仕方なく、司牧者を置いていない小教区の教会があり、その数がふえてゆきそうだということです。「刈り入れは多いが、働く人が足らない」という聖書のみ言葉は、いまこそ強く感じられねばなりません。イエスさまの御聖体と、ゆるしの秘跡を続ける司祭が、必要だからです。

イエスさまは、使徒たちをお選びになり、使徒たちは、協力者としての司祭や助祭を定め、その後、靈的なあるいは実際的な働きによる奉仕のための、いろいろな修道会や団体ができました。

教会が、イエスさまからまかされた使命、世の終りまで、すべての人びとを天国に導びくお手伝いをするという使命を果たすためには、あらゆる奉獻生活への召命、特にその中心となるはずの司祭職への召命が豊かであることが、欠けてはならないのです。キリスト者は、この召命について無関心であってはなりませんし、他の人のことと思うようなことであってもなりません。教会の将来は、この召命にかかっていると言っても、言い過ぎではないのです。小教区共同体である教会に、この召命がとぼしいと、教会全体が貧しくなりかねません。行いをあわせて、この召命がまことのものとなるように、祈りつづけましょう。

「召命の恵み」は、祈る私たちをとうして与えられる神様からの「豊かな賜物」なのです。

委員会だより

9月6日（日）に壮年会、婦人会からの参加もいただいて12名の参加のもとに開催されました。

- 1、第2次靈園募集の件：中和田教会より12名が申し込み、9月5日に工事契約締結完了した。
- 2、財務報告：7月、8月の決算報告を了承。
- 3、ファクシミリ導入の件：7月22日に開通。番号は805-1475。
- 4、夏期学校、無事完了した旨報告。
- 5、卓球大会（8月30日）についても盛会裡に無事終了した旨報告（約60名参加）。尚、予算5万円に対して7814円超過したが、超過額を委員会で負担することに決定。
- 6、横浜市環境事業局より教会浄化槽改善勧告を受けた件は、9月1日に清水委員長が出向いて対応内容を説明して一件落着。尚、本件改善対応で151、640円の支払い発生。
- 7、敬老会への贈物プレゼントは例年通り、今年も贈物をすることに決定。対象は37名。
- 8、聖歌の集いが来年2月28日に山手教会で開催されるが、例年通り中和田教会も参加する。
- 9、バザーに関し、婦人会より提起された飲食物販売に関する懸念の件、清水委員長が保健所に出向いて種々指導を受けた。
- 10、7月26日開催のバザー準備委員会の報告。
- 11、一粒会現況説明：新会員募集など壮年会、婦人会でPRする。
- 12、典礼講習会の件：参加者を別途選任。
- 13、堅信式の件：来年（5～6月頃）に予定。対象者に、今のうちから準備をお願いする。
- 14、ご聖体拝領の順序の件（オルガン奏者）：試行的に変更実施。
- 15、神父様が9月28日～10月3日に裾野修道院に出張される。留守番表を別途掲示。

以上

壮年会だより（9月20日） (12名出席)

1. 11月ハイキングについて
下記のように鎌倉ハイキングを行う。前回の高尾山より楽ですので、ふるって御参加下さい。
・11月8日(日) 9時御ミサ後出発（雨天中止）
・北鎌倉 → 源氏山 → 大仏（歩行2:30）
・戸塚駅16時頃解散予定
2. 講演会
11月15日(日)に、小野寺先生に講話をお願ひしております。多数の御参加をお願い致します。
3. バザーについて（10月25日 11時～）
・前日(10月24日) 1時より準備作業を実施。
多くの方の御協力宜しくお願ひ致します。
・家庭の『在眠品』を中心とした雑貨は、値付けを婦人会、販売を壮年会主体に実施。新趣向として、購入者への三角くじも行う。尚『在眠品』の御提供は、10月11日までにお願い致します。
・食べ物は例年通り、焼鳥、焼イカ、焼ソバ、飲物とし、各々値段と担当を決定した。また今年から食券の前売りも行う。
・園芸はパンジー7色セットと春咲き草花5種セットを、庭をきれいにする会にて用意する。
4. 10月25日、11月8日は行事の為、サロンは中止致します。

婦人会だより

（9月20日 34名出席）

1) バザーについて

- ①今年はカレーライスに加え、山菜炊き込み御飯も作ることになりました。値段は以下のように決定しました。

・カレーライス：	350円	(50食予定)
・山菜炊き込み御飯：	250円	(150食予定)
・おでん：	250円	(200食予定)
・ケーキ、紅茶：	150円	(200食予定)

- ②バザーの前日／当日のお手伝い分担表を貼り出しましたので、お手伝い頂ける欄にお名前をお書き込み下さい。

- ③紅茶のティーバッグ及びスティックタイプのシューのご寄付をお願い致します。

- ④ケーキ作りを10月22日（木）午後1時より立場地区センターにて行いますので、お手伝いをお願い致します。

- ⑤値段付けを下記の日に行いますので、御協力お願い致します。

- ・手作り品： 10月7日
- ・雑貨品、古着： 10月14日

- ⑥雑貨品は10月11日迄にご提出下さいようお願い致します。

- 2) おむつ縫いは、バザー準備の為10月はお休み致します。11月にD地区、A地区合同で行います。

- 3) 次回例会は10月18日、お当番はD地区です。

もうすぐ “92バザー”

バザー委員会（石崎）

バザーは、いよいよ今月25日の日曜日となりました。最後の準備に入ります。多くの方々の協力と働きによって楽しく実のあるバザーにいたします。

ご家庭で眠っている品々のご寄附、ご提供の受け付けは、14日（水）まで聖堂入口のバザー用品箱にお入れ下さい。整理、値段付け等の関係で一応しめ切らせていただきますが18日（日）午前中まで箱は、用意いたしておきますのでご協力下さい。

・バザーの賛助として食券（カレー、炊きこみご飯、おでん、手づくりケーキ、焼鳥、焼ソバ、焼イカ）等の前売り券を毎週日曜日、午前9時ミサ後受付にて売っています。当日の混雑解消サービス向上のためご協力下さい。

・その他食料品、中古衣料品、日用雑貨、園芸関係等たくさん用意いたしております。

“92BAZAARは、私達一人ひとりの小さな奉仕で困っている人々のため、私達の教会をよりよく保つために皆様の貴重な時間と力を貸し下さい。

・バザー会場設営を、24日（土）午後1時より行います。壮年会、青年をはじめどなたでも、お手伝い下さい。

・バザーの日が良いお天気に恵まれますようお祈りしましょう。

11月の行事
1日 委員会 ミサ後
8日 遠足 "
15日 壮年会 "
22日 婦人会 "
レジオ 13.20.27



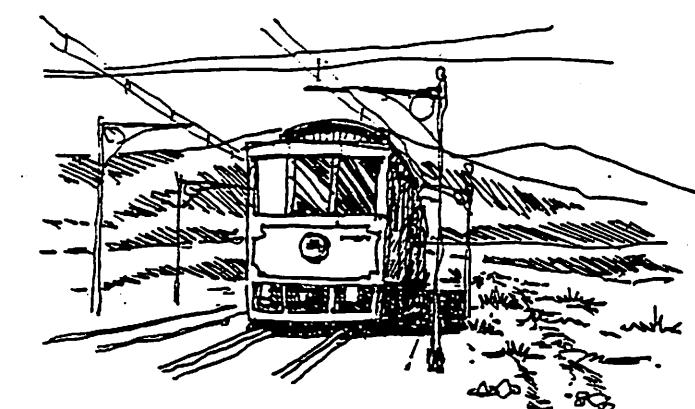
第175回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992年11月1日

壮年会だより (10月18日)
(11名出席)

1. 委員会報告
2. 11月ハイキングについて
鎌倉ハイキングは、2.5時間程度の歩行時間で前回より楽な上、今年は鎌倉開府800年記念で賑わっており、是非御参加下さい。
3. バザーの準備
・食べ物、飲み物、園芸、雑貨の担当者の決定。
・前日(24日)の準備担当者と作業内容確認。(テント張り、床張り、仕切り板はずし等)
・テントのレイアウト決定。
テントは4張り(内2張りは借用)。
晴天時は焼き物類と休憩所に2張りづつ使用。
雨天時は、当日朝建物に近い方に移動。
・雑貨コーナでは3角クジ(商品券他、空クジなし)を実施。

お知らせ
・ご結婚 おめでとうございます。
10月25日(日) 東京 沈定教会
マリア 織田 貢子
高橋 宗穂

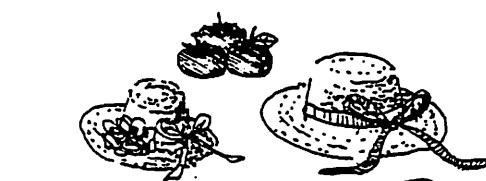


委員会だより

10月4日(日)に7名の参加のもとに開催されました。

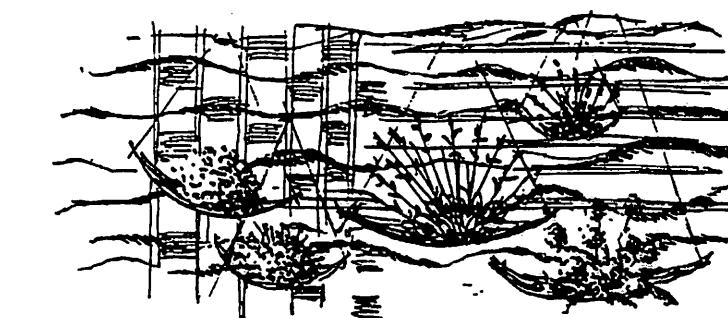
1. 神父様ご出張(据野修道院; 9/28~10/3): 壮年会、婦人会で留守番当番になられた方々、ご苦労様でした。
2. 11/15の七五三のお祝い:
対象者は神父様に申し出ていただきたい。
3. 掃除機吸い込み能率低下の件:
仲村婦人会会长が調査する。
4. 婦人会 下村様より9/11に『餅つき道具一式』をご寄付頂いた。
5. 中和田教会所在地案内図を清水委員長が作成した。活用願いたい。(事務室に常備)
6. 9/27に末吉教会で典礼勉強会が開催され、当教会から東原氏、萩原氏が参加。近々結果発表を行い、教会全体の動きに反映させる。
7. 9/27に横浜司教区 宣教委員会が開催され、清水委員長、内藤氏が参加(7教会13名参加)。
・クリスマスの迎え方
・青年会のあるべき姿
・片瀬教会での未洗者の配偶者への呼び掛け(配偶者の理解を求めるためファミリー・ミーティングをしています)
8. などが話題となっていた。
当教会でもいろいろ考えて行きたい
9. バザー準備(詳細は中和田会報10月号掲載):
・食器は、全て使い捨てタイプを使用する。
10. 堅信式の件:
・日取りは来年5/2または5/23の見込み。
・来年中学生以上となる人(現6年生以上)が対象である。

以上



婦人会だより
(10月18日 33名出席)

- 1) バザーについて
①10月7日の手作り品、及び14日の在眠品の値段付けは皆様の御協力により、大変スムーズに終わりました。どうも有り難うございました。
- ②10月22日のケーキ作り、23日の買い出し(役員にて)及びバザー前日、当日のお手伝い共宜しくお願ひ致します。
- ③当日の販売上の注意事項や、手作り品コーナーの担当者の追加をお願いしました。
- 2) おむつ縫いは、11月14日(土)にA地区、D地区合同で行います。今年中に奄美の園へもう一度送りたいと思いますので、是非皆様の御協力をお願ひ致します。
- 3) 次回例会は11月15日、お当番はA地区です。



編集後記

絶好の秋晴のもとで中和田教会のバザーが行われました。当日は勿論、このバザーの為に様々な形での寄附や、奉仕で参加された方々、特にバザーの前日、当日、さらに終わった後の聖堂の修復作業や掃除など、多くの人々の時間と労力の提供で成し得たイベントだとつくづく思いました。

また、この日の為だけ(?)に参加された方々は、こちらからの呼掛けに快く応じていただけました。

この事は深層で信者間の相互理解が呼応した証だと強く感じた次第です。

共通した土壤での相互理解がいかに労力を費やしないで遂行できるかを実感しました。

名古屋の高校生が留学先の米国・バトンリュージュで射殺されたニュースは日本国内のみならず米国で全米報道され大きな反響を呼び起しました。これは毎日若者だけでも数十人が殺されている現実からみて、アメリカ国内でトップ・ニュースとして報道に値しない事件だと思われたからです。確かに今までに、米国に来る交換留学生が何等かの事件に遭遇し殺人事件として報道された事が過去に度々ありました。しかし、今回の比では無かったと思います。これは、日本の報道が「丸腰の若者が訪問先を間違えて庭先から進入してきた行為を阻止するために射殺した。」その野蛮性を取上げ大々的に報道したものと外電が、東京発のニュースとして米国に打電したのが発端だと聞いています。

进入者を射殺するという行為は、日本では非合法、アメリカでは合法、という文化を含め歴史的な土壤の違いから来る決定的な違いではないでしょうか。

「留学生の射殺事件」と「中和田教会のバザー協力依頼」内容は異なりますが、時を同じくした身近な事柄から、「共通の土壤」の大切さ、必要性を感じました。

M・I

三十五年目のロマン 付③

山崎正俊

(つづき) それで、もっと確かな論拠が得られるまで、その結論の発表をさしづかえ、その目的を隠して、資料を集めながら研究を続け、いつしか二十年近くの年月が過ぎたのだそう。

◎ その頃、ウォーレスという人が、別のところで、自然観察をしているうちに、ダーウィンの発表したものやその研究の経過を知り、自分の発見した事象をまとめて、批評を求めて来た。これを見たことにより、ダーウィンは、ウォーレスとの連絡で、この自然界において生物は、それに適応し得たものだけが、選ばれて生き続けるという小論を発表し、その一年後に、「種の起源」を出版した。その版を重ねることに、ウォーレスのことについて触れるなどを、多くして行きながら。

◎ ウォーレスは、ダーウィンに「種の起源」を書かせる決心をさせたことで、喜びと満足の意を表してくれた。一方、ダーウィンは、自分には、どうしても果たさなければならぬことがあると言いつづけていたが、それは、恵まれることの薄かったウォーレスの功績を、国家に認めさせ、年金が贈られることであった。その死の一年前に、それは実現した。——ウォーレスは、ダーウィンの葬儀で、ヒツギを扱いでいる。その無欲と善意に満ちた素朴な性格が、ダーウィンの研究を支え、「多くの迷信から、人類を引き離す」という、理性の本来の使命を果たさせたのに、重要な働きをしている事実には、進化論に反感を持っていた人であっても、その高慢の首を折らねばなるまい。

◎ 進化論の歴史のなかに、ウォーレスの名は小さい。この頃、このウォーレスを持ち揚げる試みをする人もあるが、それは本人の願うところではないらしい。どうやら、この進化論という命名さえ、生物の進化に就いて始めて科学的に唱えた人の関心事ではなく、その信仰と対立するような所では、真剣に悩んでいたその純情さに、私は感動をおさえきれない。——いまの人は、自然のなかで選ばれて進化し続けているこの長い時間のなかの、束の間の存在に過ぎないと言えても、「弱い者を、その不利益から守る知恵」を持っているから、他の生物たちのような不当な滅亡だけは、まぬがれ得るだろう。——これはそのまま、現代の人類世界への、捨て難い忠告に、なってもらいる。

12月の行事

- 6日 委員会 ミサ後
13日 サロンは休会です
19日 お知らせ欄参照下さい
20日 壮年会 ミサ後
婦人会
27日 サロンは休会です



第 176 回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
TEL 045-803-6141
1992 年12月 6日

鎌倉散策

宮崎一同

11月8日教会での鎌倉へのハイキングがあり家族共々参加させて頂いた。山田さんをリーダーに総勢30名近くの大部隊である。

その日はお陰様で絶好のハイキング日和。きっと「初参加の私達に神様も同情してくれた」などと勝手な解釈をした次第。神に感謝!

北鎌倉駅を降り、さあ自指す源氏山山頂(?)へアタック。いや待てその前に準備運動でした。リーダーの指導でストレッチ体操を。軽々とこなす人、早くも顔をしかめる人。普段の健康管理状況がよくわかります。

そしてリーダーを先頭にいよいよ登頂開始。最初全員いさんでスタートしたのはよかったが多少お年をめした方が早々と遅れ始めた。だがそこは信者同志あり合わせの杖を調達してきたり(断っておくが枯木ですよ)、後押しをしたり。この美しい光景はすれちがう人々に感動を与えた事だろうと思いますよーキット

源治山のいわれは何だろう・・・やはり鎌倉幕府・源頼朝に関係あるのかななどと自問自答しながら私も黙々と歩を進めた。そうこうしている内やっと山頂到着、待望の昼食にありつけました。

皆々 趣向を凝らしたお弁当の開帳。「隣の芝生は青く見える」の例え通り他の御弁当が美味しく見えること。更にリーダー持参のコンロで作った飛びつきり美味しいコーヒーサービスもありました。うまいんだなーこれが!!

食後 ハーモニカ演奏も飛びだし、中和田婦人アカデミー?によるコーラスに聞きほれました。曲は「#秋の夕日に照る山 紅葉##」居合わせた回りの人々の熱い視線を集めました。

神父様は相変わらず愛用のカメラで 所構わず? 人構わず? パチリ・パチリあちらかと思えばこちら、神出鬼没でした。アット驚く写真が出来てくるかも知れませんヨ。

さて次は 下山です。登りに比べたら下りは楽勝とタカをくくっていたが甘かった、意外と膝にくる。日頃の運動不足を嘆いても後のまつり・・山道の木立ちの合間から遙か相模湾の絶景が見え隠れして、しばし疲れをいやしてくれました。皆さん 励まし、助け合って全員なんとか平地にたどりついた際は、涙こそ見せなかつたものの思わず皆で拍手! 拍手! 帰りは長谷大仏經由で鎌倉駅へ、そして戸塚駅で解散。

今回事前のコース下見から始まって参加者全員の安否に神経を使われた山田リーダー本当に御苦労さま。そして参加の皆さんともにかくにもお疲れ様でした。今度は「#春のうららの墨田川 #」が似合う季節に出掛けてみたいですね。

おわり

委員会だより

11月1日に8名の出席のもとに開催されました

1. バザー委員の活躍と全信徒の協力により成功のうちにバザーが無事終わりました。ご苦労様でした。純益金の使い道は後日相談尚、有志の方々より多大なご寄附、寄贈品を戴きました。厚く御礼申し上げます。
- ◎聖母の園老人ホームよりご祝儀を頂きました
2. 小谷さにより、一粒会委員に専念するので第5地区宣教委員を辞退したい申入れがありました。ご苦労様でした。
- (壮) 新任 石崎さんを推薦させて頂きます。
- (婦) 年末までに委員を選びます。
3. 七五三のお祝いの申込みは、今回は1名のみ
4. 典礼勉強会が9/27に末吉教会で開催され、教区司祭、NHKアナウンサー等により特別講座が行われました。
5. 教会委員会(来期も務めさせて頂きます。)

委員長	清水
副委員長(行事)	花坂
財務	橋
典礼	萩原
広報	石井
要理	井上
書記	小野

6. 信徒総会開催日 平成5年1月31日
(午前9時ミサ後)

7. 消防技術講習について:
講習日(11/12)には清水委員長が参加します。
以上

婦人会だより

(11月15日 40名出席)

- 1 11月6日、婦人会の意向として、亡くなられた婦人会員の方々のために死者のためのミサをあげて頂きました。
- 2 11月23日、シスター山田の追悼ミサが、原宿の聖母の園で行われました。婦人会よりお花料を差し上げました。
- 3 バザーの反省
今年は好天にも恵まれ、皆様の御尽力で、和氣あいあいと、楽しいバザーとなりました。皆様から頂きました多くの貴重な御意見は、今後の反省として引き継ぎたいと思います。
- 4 来年度の役員を各地区より下記の通り、2名づつ選んで頂きました。(敬称略)
A地区: 佐々木邦子、小野和江
B地区: 石川雅子、宮崎ヒトミ
C地区: 上野明子、清尾史子
D地区: 楠田恵美子、竹田恭子
宜しくお願ひ致します。
- 5 おむつ縫いは、12月、1月とお休み致します。尚、11月15日奄美の園へ今まで作成したものを送りました。御協力有り難うございました。
- 6 次回例会は12月20日、お当番はB地区です。
- 7 12月19日(土)に大掃除をする予定です。詳細は追ってお知らせ致します。

壮年会だより (11月15日)

(11名出席)

1. 委員会報告
2. バザーは皆様の御尽力で無事終了しました。壮年会の収益も予想以上に上げることが出来ました。有り難うございました。
3. 連絡事項
 - 12月6日に大水さんの追悼ミサがあります。
 - サロンは11月第4週(22日)より再開。
 - ハイキングは多数の参加で楽しい一日となった。
 - 来年度役員は次回12月23日に推薦とする。

4. 小野寺先生の御講演 (壮年会年間行事)

小野寺先生より『宗教と青少年の教育』と題し御講演頂いた。先生がこれまで30年間思索してこられた「宗教とは、聖靈とは」を中心に、日常御苦労されている教育現場の問題も含め、熱のこもった、分かりやすくすばらしいお話を示唆される所が大変大きかったです。

聖靈を受け、最も深い靈性を保つための方法には、国や地域や伝統により種々の形があるとしても良く、この一点で東西の宗教の意義深い交流がありうるとする先生の御意見は、色々な御体験に裏打ちされ説得力があった。またカトリック校でも宗教教育は難しくなっているとのお話で、家庭での教育の重要性を一層感じた。

大変素晴らしいお話を頂いたので、是非もっと大勢で聴けるような場を設定して、再度お話を頂ければとの一同の声であった。先生どうも有り難うございました。

バザー運営委員御苦労様

教会委員会より壮年会3名、婦人会3名の方々が推薦され活躍して下さいました。

11月15日 バザー収支報告を公示

11月22日 反省会を開き有益な御意見が発表され次回バザーに反映されるものと思います。本日をもって運営委員会を解散。

皆々様の御協力ありがとうございました。

教会委員長 清水

お知らせ

- クリスマスのミサ 24日(木) 20:00
ミサ後にパーティーが有ります
25日(金) 10:00
- 新年のミサ 93年 1月 1日(金) 10:00
2日(土) 19:00
3日(日) 7:00
9:00

- お悔み
アンナ 山田つや様 11月26日 (山田 孝信
さんの御母堂)
- 年末大掃除 12月19日(土) 壮年会は10:00
婦人会は 9:30
- 消防訓練を12月20日(日) 9時ミサ後行います